

- ・公開～ロングH・R
- ・研究発表
実験学校研究発表（湯本高校）
- ・研協究議

⑥ 県北地区小，中学校生活指導研究協議会

- ・期 日 昭和38年2月20日（水）
- ・会 場 伊達郡桑折町立睦合小学校
- ・公 開 教科，道徳，学級会活動
- ・研究発表

校内における生活指導をどのように実施したか
（会場校）

交更安全教育について（信夫郡飯坂町立平野小
映画運動とパーソナリテーの形成（安達郡本宮
町立本宮小）

- ・分科会
第1～生活指導の計画をどのように立てればよいか。
- 第2～教科指導における生活指導をどのようにすればよいか。
- 第3～教科以外の場における生活指導をどのようにすればよいか。
- 第4～中学校における生活指導をどのようにすればよいか。

⑦ 県北地区高等学学校生活指導研究協議会

- ・期 日 昭和38年2月20日（水）
- ・会 場 福島女子高校
- ・公 開 ロングH・R
- ・研究発表
H・R運営上の問題点について（福女）
生徒指導のためのクレペリン検査について（福高）
処罰基準適用上の問題（学法福工）
- ・研究協議

(3) 手びき書の作成配布

交通事故の多発をはじめ，各種の事故が頻発する現状にかんがみ，安全指導のより強力な推進の必要を認め，安全指導に関する手びき書を作成して各方面に配布した。

これは，学校および家庭における安全指導のあり方について具体的に述べたものである。

- ・発行年月日 昭和38年3月1日
- ・体 裁 B5版118ページ

第6節 科学技術教育

科学技術教育の振興のためには，

1. 科学技術教育担当者の資質の向上
2. 施設設備，実験実習の充実を図ることが必要である。

そのために昭和37年度においては，理科教育振興法，産業教育振興法，産業教育振興法に基づく施設設備の確実や理科実験講座，内地留学生の派遣，現場実習の実施工業高校の増設，農業体質改善の促進，実験実習費の充保，研究奨励金の交付など数多くの施策を実施して，その振興につとめた。

1 科学技術教育担当者の資質の向上

科学技術教育の振興は，指導者の資質のいかに左右されるので，下記事項を実施し，その向上を図った。

① 理科実験講座（小，中部会）

ア 目的

教員の実験，観察，実習等の指導力の向上を図るため，国が5カ年計画で各県に実施を委任して行なうものである。

イ 主催

文部省，県教委，会場地市町村教委

ウ 実施期日，会場，受講人員

昭和37年7月～8月の連続した7日間
小学校 4部会（安達，田村，北会津，相馬）
180人
中学校 4部会（信夫，西白，北会津，相馬）
160人

② 理科実験講座（高校部会）

ア 目的

県内公私立高校教員の中，地学を担当している者に現地実習を行なわせて，実技の向上と，地学標本の採集を行なわせる。

イ 主催 文部省，福島大学，県教委

ウ 日時 8月3日～9日の7日間

エ 会場 福大学芸学部および野外

オ 受講者 40人

③ 教職員研究奨励金制度

ア 目的

この奨励金は大学の研究機関に所属しない者の行なう学術的価値ある科学研究を助成し，あわせて小中，高校の行なう科学研究を奨励する。